連協道路ニュース

第398号

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局

Tel 090-4825-7174 http://renkyoueditor.web.fc2.com/

Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

(創刊 1988 .12.14)

2022.11.06.

事業者との質問・回答会議報告

10 月 25 日に今年 3 回目の質問・回答会議を開催しましたので概要を報告します。

(会場風景)

①トンネル区間の総 NOx 排出量と釜利谷開口部からの排出量について

3 年前の換気所等排気方式変更に伴う開口各部から大気中に排出されるガス量について説明を求めてきたが、数値が合わないため図示して質問した。今回釜利谷開口部 50m 間の排出量が示され全体像が掴めた。

トンネル間総排出量 ＝45,274g/日(100%)

- 釜利谷開口部排出量＝17,428g/日 (38.4%)
- 笠間換気所排出量 ＝ 6,417g/日 (14.2%)
- 公田換気所排出量 ＝13,829g/日 (30.4%)

釜利谷開口部排出量が 2 カ所の換気所よりはるかに多い。

道路全体計画として問題が多く、参加者から釜利谷開口部の蓋掛け等環境対策が強く要求されたが、事業者はこれまでと同様「200m 離れており環境基準値以内であるので設置の計画は無い」との回答であった。引き続き蓋掛け等環境対策を求めていく。

②桂台トンネルシールドマシンの線形管理(計画との実績の管理)問題

シールドマシン進行に併せ工事用道路のフェンスにマシンの位置と深度が表示されているが、6 月中旬の表示では日によって浅くなったり深くなったりの表示であり、おかしいと指摘した。「施工業者が間違えた」との回答であった。沿線住民に対する情報は重要な事柄であり、管理の杜撰さが強く指摘され、間違えた理由や施工業者の管理体制のチェックを含めた原因等を説明するよう求めた。

③桂台トンネルシールドマシンの工事時間

2 月のシールドマシン掘進再会後において振動・騒音は著しく、沿線住民からのクレームを受けて 21～22 時以降の掘進は夜間停止となった。更に桂台西地区の浅部掘進では地上部でも騒音が聞こえる事態に至り、20 時以降の振動騒音の出る工事は行わないことになっており、他の地上部の工事と同じく「平日の昼間帯」とするよう要求していた。

回答は、**「明確に答えられる段階ではないが、上り線の実績を蓄積してきたので、下り線の作業時間については今後検討させて頂きたい」** であった。

④2 月市議会道路等常任員会における脱硝装置設置要請文書提出の意見問題

前回 6 月 30 日の回答では、道路局として「委員会では要請文書提出とはなっていない。今後も文書を含めたあらゆる手段を考えていく」との回答であった。

議会議事は録画公開されており確認すると、委員長の「委員の言われる意味は良く分かりました、要望として受けたまわる」の発言であり、これは質疑の内容から文書提出を前提としているとの今回の質問に対し、回答は**「要望であって文書提出は義務付けられたものではない」であった。**

市議会すなわち政治政策を履行すべき方向性を行政役人が勝手な見解で従わないことの問題への詰問、議論は平行線であった。

(⇒裏面へ続く)

他方、9 月 4 日市議会本会議における中山市長の「脱硝装置設置要請は行った」とする答弁があったがその内容を求めた所、「8 月 26 日に文書で要請している。その要請文書は開示請求して貰えば示せる」との回答であった。

当該問題を議論している中で市民・沿線住民に対して内容に答えることなく、情報開示請求しろ、とは如何なることか!

かかる対応は道路局役人の市民に対する冒瀆以外の何物でもない。呆れ果てた役人根性と感じた。(開示請求済、2 週間の見込)

⑤ 桂台トンネル防音ハウス日陰問題

問題提起後 3 か月も経ておりどのような対応をしているかとの質問で、回答は「9 月初め工事長が当該宅訪問（留守)、10 月に入り当人と面談、その後、十数軒の方の話を聞いているが特に問題とはなっていない」であった。我々の当該宅の方との確認では「工事長は何が出来るか考えてみますと言って帰ったが、その後工事長からは何の連絡もない」と言っている。組織内でどのように対応することになっているか確認することになった。

⑥上郷公田線トンネル死亡事故の安全対策

当該地区参加者から以下の質問がされた。「HP には死亡事故は誘導作業員が後進してきたダンプトラックに轢かれたと掲載。このトンネル入口部の歩道を多くの市民が毎日使っており、誘導員は配置されているが同様の危険が心配される。未だ工事は停まっているようだが、事故について地元住民には何の説明もない、再開前に説明すべきではないか」。

市道路局として「工事管理担当は栄土木事務所であり、どのように対応するか相談する」との回答を得た。

（事務局長　長谷川誠二）

長谷川えつこ議員　市会で質問

栄区選出の同議員が 10 月 13 日の横浜市議会決算第一特別委員会（道路局関係）で連協の要望を受けて横環南に関する質問を行いました。道路局より現地工事のよる騒音振動等の生活環境への影響等の問題に対して住民にきめ細かく丁寧に対応するよう事業者に申し入れる、脱硝装置の設置については国に対してあらゆる機会を通して強く要請していくとの回答を引き出しました。なお当日の市会中継は web からいつでもご覧頂けます。　（会長　比留間）

桂台トンネル工事騒音・振動・低周波音　被害調査集計報告

今年 1 月から 8 月下旬にかけて発進立坑周辺から回転立坑周辺の方を対象に被害調査を行いました。146 人（回収率 35%）の方から回答を頂きました。騒音・振動があったと 7 割近くの指摘がありましたが、中には頭痛、不眠、不快感と言った明らかな健康被害の訴えが 25 件ありました。

建物・外回りへの被害は 38 件ありましたが、明らかに工事の影響と思われる土間コンやタイルのひび割れ、ブロック塀や壁タイルのひび割れの指摘が 6 件ありました。その他についても事前調査報告書で指摘されていない変状は、今からでも遅くありませんので遠慮せずに事業者に点検させて下さい。来年 4 月以降には下り線の掘進が始まります。騒音・振動だけでなく建物・外回りの変状についても気づいた時点で事業者へ対処するよう申し出て下さい。

（調査グループ　大橋）

対外活動報告

10/3 外環青梅街道インター訴訟（東京地裁）＆反省会（弁護士会館）会長出席
10/7,21, 低周波調査会（zoom 会長参加）
10/16 外環陥没 2 周年集会（つつじが丘会館　会長参加）
10/25 事業者との質問・回答会議
10/29 道路全国連交流集会（三鷹会場＆ZOOM 配信、会場に会長、事務局長参加）
11/3 公共事業世話人会（zoom 会長参加）
11/4 低周波調査会（zoom 会長参加）